みやぎ県議会だより

令和３年
11月定例会特集
第141号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL 022(211)3592　FAX 022(211)3598

議決した議案等

可決した発議＜1件＞

○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

可決した意見書＜1件＞

○中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、必要な措置を講ずることを求める意見書

可決した決議＜1件＞

○北朝鮮による日本人拉致問題に対する理解を深めるための取組を推進する決議

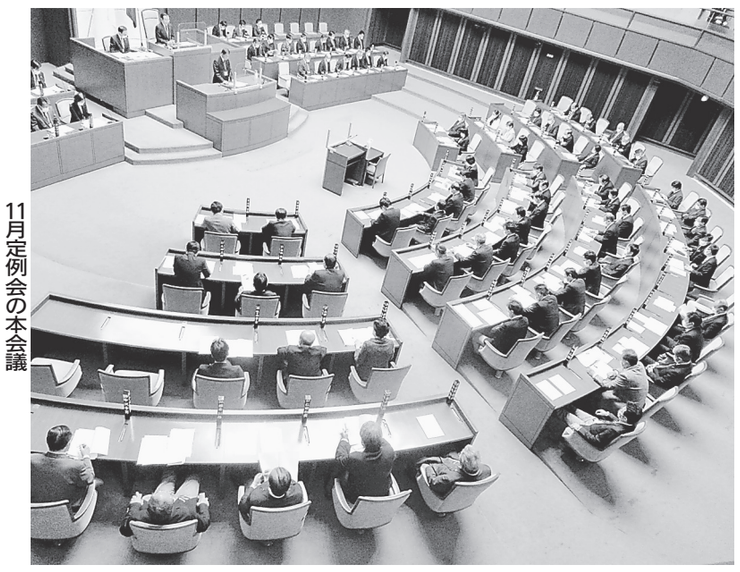
可決・同意した知事提出議案＜49件＞

○令和３年度宮城県一般会計補正予算
○行政機関設置条例の一部を改正する条例
○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
○家畜伝染病予防法施行条例の一部を改正する条例
○当せん金付証票の発売限度額について
○市の境界変更について（登米市と栗原市）
○監査委員の選任につき同意を求めることについて
○収用委員会委員の任命につき同意を求めることについて　他

採択した請願＜2件＞

○私立高等学校等への助成強化に関することについて
○私学助成拡充に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。


11月定例会の本会議

４病院再編
積極的な情報開示を
知事「できる限り提供」

第381回宮城県議会（11月定例会）は令和3年11月24日から12月15日まで22日間の会期で開かれた。新型コロナウイルス対応の関連費を中心に約399億7768万円を盛り込んだ2021年度一般会計補正予算など50議案を原案通り可決した。一般質問では、仙台医療圏に立地する4病院の再編方針や新型コロナ対策、東日本大震災の復興などで活発な議論が展開された。なお、石川光次郎議長の辞任に伴う議長選があり、後任には菊地恵一議員が選出された。

仙台赤十字病院（太白区）と県立がんセンター（名取市）を統合して名取市に、東北労災病院（青葉区）と県立精神医療センター（名取市）を合築して富谷市に建設する再編方針。9月定例会で知事が二つの拠点病院を整備する協議を始めると表明したものの、議員は「情報公開がほとんどされていない。積極的に開示するべきだ」と指摘した。知事は「4病院の統合・合築の二つの枠組みについては具体的な内容が決まっておらず、協議の開始を合意したものだ」と述べ、関係機関との協議を重ねる過程で、情報を提供していく方針を改めて示した。

「消防本部ごとの搬送時間の差はどのくらいあるのか」と議員は質問した。知事は、昨年の県内の消防組織別の救急搬送時間は、仙台市消防局が39・3分に対し、名取市消防本部が県内最長の51・3分だったことを説明し、県内の病院をバランス良く配置することに理解を求めた。

病院再編への反対が回答者の3分の2に上った独自のアンケート結果を披露した議員の指摘に、知事は「仙台市民の中には、市内の医療が低下するという不安が先行しているのではないかと受け止めている。できる限りの情報提供を行っていく」と答えた。

登米、栗原両保健所をそれぞれ石巻、大崎両保健所に統合する案を巡り、議員は「コロナ禍で縮小再編する理由はあるのか」と質問した。保健福祉部長は「組織再編は保健所に求められる専門性の強化と機動的な応援態勢の確保を図ろうとするものだ」と答弁した。

情報発信の強化提言
―石巻・震災伝承館

東日本大震災の復興関連の質疑もあった。議員は「震災の復興完遂はどの時点と考えているか」と質問。知事は「復興完遂は被災された方それぞれの考えがあるが、県民の皆さまに復興したと実感してもらえるよう、努力を重ねることが使命だ」との姿勢を述べた。

みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市）について、議員は「県内の被災地のゲートウェイ機能や連携の中心的役割を担っている」と述べ、施設の情報発信強化に向けた取り組みを推進するよう求めた。復興・危機管理部長は「『映像を見る機器が少ない』『リアルな展示物が少ない』などの意見もあり、課題は見えてきている。今後は特別展示などの企画の充実により、ゲートウェイ機能を強化する」と答弁した。

議員は、災害時に死者や行方不明者が発生した場合の氏名の公表基準の策定を求めた。知事は、静岡県熱海市で発生した土砂災害で「安否不明者」の公表が救助活動の円滑化につながったことを踏まえ、「個人情報保護や家族の心情に配慮しながら、人命救助を最優先とすることを基本に、引き続き検討する」と答弁した。

地方への移住策 情報発信強化を

人口減少対策に関した質疑で、議員は「首都圏の若年層は地方移住への関心が高まっている。この機会を捉え情報発信を強化するべきだ」と強調した。知事は宮城が置かれた現状について、「首都圏からの交通の便が良く、コロナ禍で離職した人が関心を持つ傾向が見られる」と述べ、従来の対面型とデジタル技術の活用を効果的に組み合わせた情報発信強化に取り組む考えを示した。

地域おこし協力隊について、議員は「制度の積極的な活用を求めたい」と要望した。企画部長は「4月現在で124人の隊員が活動しているほか、任期を終了した95人のうち、58人が県内に定住し、起業・就業するなど、取り組みの成果は表れてきている」と答えた。

コロナ対策 強力な後押し要望

医療体制強化

新型コロナウイルスに関連した質疑で、医療体制の強化や観光需要の回復、米の消費拡大など、議員からは幅広い観点で対策の後押しを求める意見があった。

議員は「感染拡大に備え、医療体制の強化が必要だ」と指摘。知事は、入院は今夏のピーク時の1・5倍超となる511床を、軽症者らを受け入れる宿泊療養施設はピーク時の3倍超となる最大2600室を確保できる見通しであることを説明し、「陰圧管理できる個室病床などの確保も進めている」と述べた。

観光需要回復

観光旅行客の落ち込みに関し、「県内旅行を対象にした県民割について、国庫補助は隣県へも拡大される」との議員の説明に対して、知事は「隣接する4県と協議を進めており、今月中旬をめどに対象を拡大し、事業期間を延長したい」と答弁した。

米の販路拡大

中食や外食の落ち込みにより、米価は低迷しており、農家は苦境に立たされている。議員は「追加的な転作要請に協力してもなお、在庫量の追加を防ぎ切れていない」と質問した。知事は「首都圏で宮城米の認知度は向上しているが、販路の拡大につながってはいない。米の消費拡大や営農継続支援に取り組んで、稲作農家の経営安定を図りたい」と答えた。

SDGs実現へ 強化策問う

国連の持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組みに関しての質問も目立った。燃料電池自動車（FCV）について、議員は「現行の購入費補助では負担額の軽減が不十分だ」と指摘し、普及拡大へさらなる支援の拡充を求めた。環境生活部長は「県のFCVの購入費補助は全国的にも高い水準にある。8月には県内2カ所目の水素ステーションを開所した効果もあり、県内のFCV登録台数は着実に増えている」と答弁し、脱炭素社会に向けた取り組みを強化していることを説明した。

再生可能エネルギーや蓄電池などを備えた輸送可能なコンテナ型のムービングハウスに関して、議員は「二酸化炭素排出量を削減する観点から、国庫補助が創設されている。県の活用実績は」と質問。環境生活部長は「3月に国がムービングハウスなどの導入支援に関する制度を創設した。創設間もない制度のため十分な認知がされていないが、県としては制度の周知に努めていく」と説明した。

議員は、再生可能エネルギーの利用促進に向けた太陽光発電設備の設置拡大を求めながら、「災害リスクの高い区域への設置には十分な配慮が必要になる」と述べ、条例による規制の必要性について指摘した。知事は「地域住民の不安解消の観点からも一定の規制は必要になる。条例の制定を前向きに検討したい」と答弁した。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽**ゆさみゆき**（県民の声）村井知事5期目の県政運営と政治姿勢、社会で支える宮城の子ども・子育て　他▽**遠藤隼人**（自民）我が県の県立病院等の方向性について、我が県の環境政策について　他▽**菅間進**（無所属の会）知事選の日程等の在り方について、4病院統合・合築問題について▽**仁田和廣**（自民）国土強靱化予算について、水素ステーションについて▽**松本由男**（自民）災害時の死者・行方不明者の公表方針、教員の免許状更新制度の評価と今後　他▽**佐々木奈津江**（県民の声）村井知事5期目の県政について、安心して暮らせる宮城県について　他▽**中島源陽**（自民）これからの農業政策について、一人一人に寄り添う教育について　他▽**吉川寛康**（21世紀ク）民間活力を生かした行政運営について、新型コロナウイルス対策について　他▽**瀬戸健治郎**（自民）栗原・登米保健所支所化について　紅葉時渋滞解消と道路改良について　他▽**高橋宗也**（自民）感染症対応と農業・水産業の持続的発展、残された復興の課題と防災力の強化▽**枡和也**（県民の声）宮城の省エネとエネルギー政策について、バリアフリー社会の実現に向けて　他▽**福井崇正**（自民）県の経済回復に向けた取組について、県のDX推進に向けた取組について　他▽**畠山和純**（自民）漁港施設等の復旧と復興完遂について、宮城野原防災拠点整備と復興完遂　他▽**天下みゆき**（共産）4病院再編案は撤回し地域医療の充実を、栗原及び登米保健所支所化について　他▽**伊藤和博**（公明）コロナウイルス感染症対策について、県立病院等の今後の方向性について　他▽**藤倉知格**（自民）地域医療構想の推進と4病院統合・連携、新たな産廃最終処分場問題について

委員会構成

11月定例会では、議会運営委員会や常任委員会等の委員が選任された。また、予算特別委員会のほか、大震災復興調査特別委員会など五つの調査特別委員会が設置された。

※◎委員長　○副委員長

議会運営委員会　定数12

◎村上智行（自民）○庄田圭佑（自民）太田稔郎（県民の声）
佐藤仁一（県民の声）天下みゆき（共産）横山のぼる（公明）
菅間進（無所属の会）村上久仁（自民）佐々木賢司（自民）
中山耕一（自民）安藤俊威（自民）中沢幸男（自民）

総務企画委員会　定数10

◎守屋守武（自民）○八島利美（自民）ゆさみゆき（県民の声）
天下みゆき（共産）熊谷義彦（社フォ）横山のぼる（公明）
佐々木幸士（自民）石川光次郎（自民）安藤俊威（自民）
中沢幸男（自民）

環境福祉委員会　定数10

◎高橋宗也（自民）○渡邉重益（自民）石田一也（県民の声）
小畑きみ子（県民の声）金田もとる（共産）菅間進（無所属の会）
佐々木賢司（自民）髙橋伸二（自民）佐々木喜藏（自民）
中山耕一（自民）

経済商工観光委員会　定数９

◎渡辺勝幸（自民）○わたなべ拓（自民）境恒春（県民の声）
三浦ななみ（県民の声）髙橋啓（緑風会）伊藤和博（公明）
伏谷修一（自民）菊地恵一（自民）藤倉知格（自民）

農林水産委員会　定数10

◎村上久仁（自民）○柏佑賢（自民）坂下賢（県民の声）
太田稔郎（県民の声）三浦一敏（共産）吉川寛康（21世紀ク）
松本由男（自民）瀬戸健治郎（自民）村上智行（自民）
畠山和純（自民）

建設企業委員会　定数10

◎遠藤伸幸（公明）○横山隆光（自民）佐々木功悦（県民の声）
佐藤仁一（県民の声）福島かずえ（共産）岸田清実（社フォ）
伊藤吉浩（自民）庄田圭佑（自民）本木忠一（自民）
仁田和廣（自民）

文教警察委員会　定数10

◎遠藤隼人（自民）○福井崇正（自民）枡和也（県民の声）
佐々木奈津江（県民の声）大内真理（共産）渡辺忠悦（無所属の会）
櫻井正人（自民）外崎浩子（自民）池田憲彦（自民）
中島源陽（自民）

予算特別委員会　議員全員

◎中島源陽（自民）○坂下賢（県民の声）
12月９、14日に総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、令和３年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。
●総括質疑者
庄田圭佑、わたなべ拓、八島利美、守屋守武（自民）太田稔郎、石田一也（県民の声）福島かずえ、金田もとる（共産）横山のぼる、遠藤伸幸（公明）熊谷義彦、岸田清実（社フォ）渡辺忠悦、菅間進（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）髙橋啓（緑風会）

大震災復興調査特別委員会　定数15

◎本木忠一（自民）○熊谷義彦（社フォ）佐々木功悦（県民の声）
三浦ななみ（県民の声）佐々木奈津江（県民の声）大内真理（共産）
横山のぼる（公明）柏佑賢（自民）渡邉重益（自民）
櫻井正人（自民）髙橋宗也（自民）守屋守武（自民）
村上智行（自民）石川光次郎（自民）畠山和純（自民）

再生可能エネルギー・脱炭素調査特別委員会　定数10

◎佐々木喜藏（自民）○佐藤仁一（県民の声）枡和也（県民の声）
金田もとる（共産）菅間進（無所属の会）松本由男（自民）
わたなべ拓（自民）遠藤隼人（自民）横山隆光（自民）
藤倉知格（自民）

地域再生・活性化対策調査特別委員会　定数10

◎太田稔郎（県民の声）○福島かずえ（共産）ゆさみゆき（県民の声）
岸田清実（社フォ）伊藤吉浩（自民）瀬戸健治郎（自民）
村上久仁（自民）佐々木幸士（自民）中島源陽（自民）
仁田和廣（自民）

少子化対策調査特別委員会　定数10

◎吉川寛康（21世紀ク）○小畑きみ子（県民の声）坂下賢（県民の声）
天下みゆき（共産）伊藤和博（公明）伏谷修一（自民）
八島利美（自民）渡辺勝幸（自民）池田憲彦（自民）
中沢幸男（自民）

地方デジタル化調査特別委員会　定数10

◎髙橋啓（緑風会）○庄田圭佑（自民）境恒春（県民の声）
石田一也（県民の声）三浦一敏（共産）遠藤伸幸（公明）
福井崇正（自民）佐々木賢司（自民）中山耕一（自民）
安藤俊威（自民）遠藤伸幸（公明）熊谷義彦（社フォ）渡辺忠悦（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）

＜会派名略称＞
自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、社民フォーラム県議団＝（社フォ）、無所属の会＝（無所属の会）、21世紀クラブ＝（21世紀ク）、緑風会＝（緑風会）

議長就任あいさつ

菊地恵一議長

11月定例会開会日に選出された菊地恵一議長が、閉会日となる12月15日の記者会見の場で就任あいさつを行った。菊地議長は「東日本大震災の発生から10年が経過した。これまでの着実な取り組みにより、ハード面においては、多くの地域で取り組みが完了しつつある一方、心のケアや地域コミュニティづくりなどのソフト面においては、今後も一人一人に寄り添った細やかな支援が求められている」と述べた。

また「人口減少や少子高齢化、自然災害の激甚化など社会情勢の急激な変化に加え、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行による産業やなりわいへの深刻な影響など、直面する喫緊の課題に対応していくために、県議会が果たすべき役割は、今後ますます大きくなっていくものと考えている。議会の使命を全うすべく、議長として全身全霊で取り組む」と語った。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
◇令和４年２月14日（月）開催予定のラウンジコンサートについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とさせていただきます。
◇令和４年６、９月開催の出演者募集
詳細は、ホームページまたは022（211）3571（総務課）までお問い合わせ下さい。応募締め切りは令和４年１月31日（必着）となります。

●傍聴のご案内
傍聴される皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染防止にご配慮くださるようお願いいたします。
詳細については、022（211）3571（総務課）までお問い合せ下さい。

企画広報委員会

みやぎ県議会だよりの編集・発行などの議会広報を行っている企画広報委員会の委員の選任が行われました。
◎伊藤吉浩（自民）○三浦ななみ（県民の声）渡邉重益（自民）金田もとる（共産）

みやぎ県議会だより　検索

●ウェブ版みやぎ県議会だより
質問内容等の詳細を掲載するとともに、文字ばかりでなく、イラストや写真、余白等を生かした紙面構成のウェブ版を発行しています。

宮城県議会　検索

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会中継　検索

●議会中継のご案内
スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。